



トステム株式会社

リビング建材 SLシリーズ 戸襖引戸枠

取付け説明書

- この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。
- 本製品の薄壁用は壁厚(117~138mm)、厚壁用は壁厚(137~175mm)、204用は壁厚(113~117mm)、3枚建・片引戸2枚建は壁厚(147~191mm)、片引戸3枚建は壁厚(172~216mm)まで取付けられます。

取付けられる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

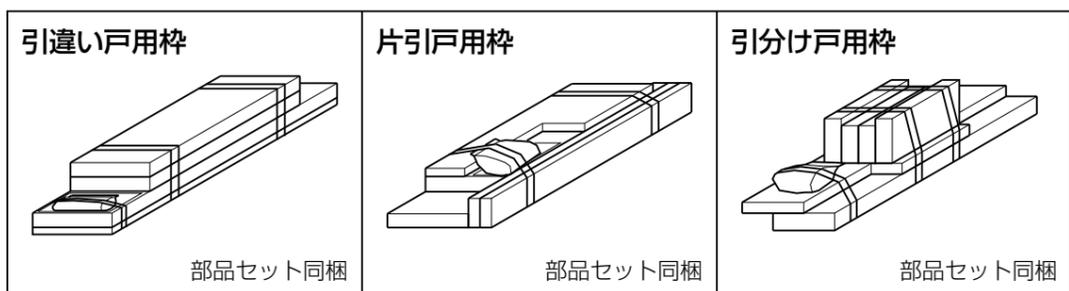
- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが、5mm以上ある事を確認してください。本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。

取付け上のおお願い

- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠小口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。

部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品。



■枠セット明細

	枠					ねじセット	
	鴨居	敷居	縦枠	中縦枠	小縦枠	23本入	26本入
引違い戸2枚建	1	1	2	-	-	1	-
片引戸	1	1	1	1	1	1	-
引分け戸	1	1	-	2	2	-	1
引違い戸3枚建	1	1	2	-	-	-	1
引違い戸4枚建	1	1	2	-	-	-	1
片引戸2枚建用	1	1	1	1	1	-	1
片引戸3枚建用	1	1	1	1	1	-	1

■ケーシングセット明細(別売り)

上ケーシング	1本
縦ケーシング	2本

■ねじセット明細

組立・取付けねじDN65φ3.8×65	23本	26本
---------------------	-----	-----

開口部の作り方

■開口部寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+10mm

開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

-縦枠カット寸法

※開口部の水平・垂直を正しく出して

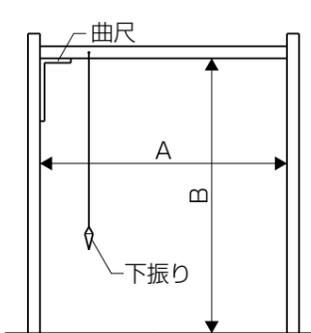
てください。

■製品寸法

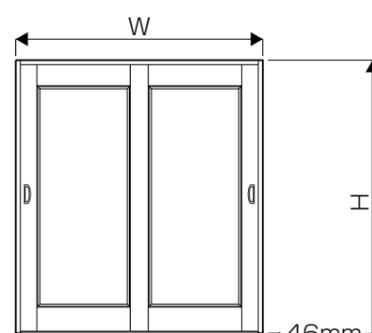
(単位:mm)

		呼称	W (DW)	H (DH)	
片引き	在来用	1618	1656(814)	1895(1813)	
		1620	1656(814)	2095(2013)	
引違い	2/4用	1618	1644(814)	1845(1763)	
		1620	1644(814)	2045(1963)	
引分け	在来用	3220	3265(814)	2095(2013)	
		3枚建て	2520	2448(814)	2095(2013)
		4枚建て	3220	3265(814)	2095(2013)
		片引き2枚建て	2520	2448(814)	2095(2013)
		片引き3枚建て	3220	3240(814)	2095(2013)

■開口寸法



■製品寸法



■取付け順序

1 枠の組立て

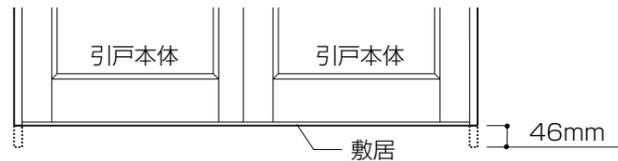
2 枠・戸当りの取付け

3 ケーシング材の取付け

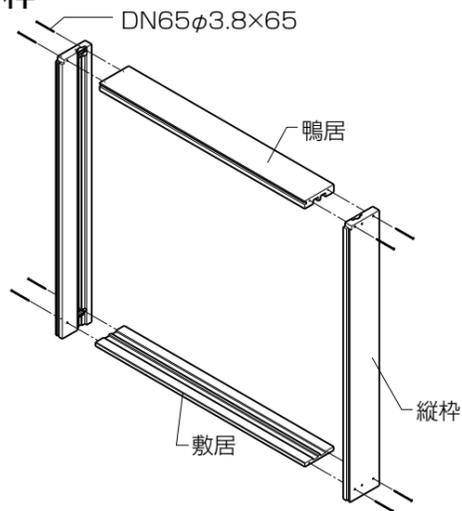
■取付け詳細

1 枠の組立て

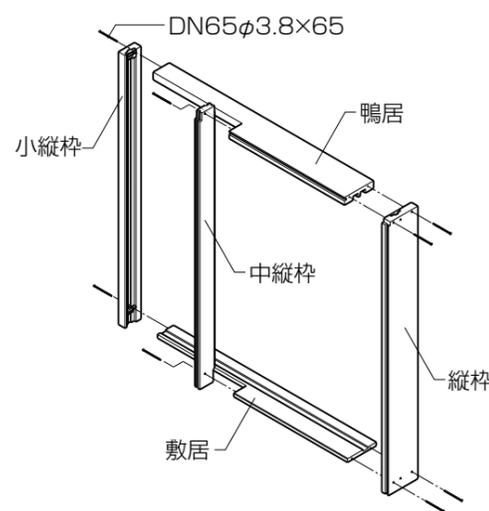
- ①縦枠は、46mm長く設定されています。
現場の納まりに合わせて、カットしてください。
- ②図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(DN65φ3.8×65)で固定します。



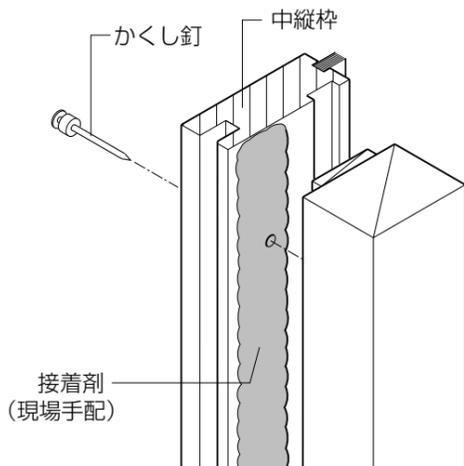
■引違い戸枠



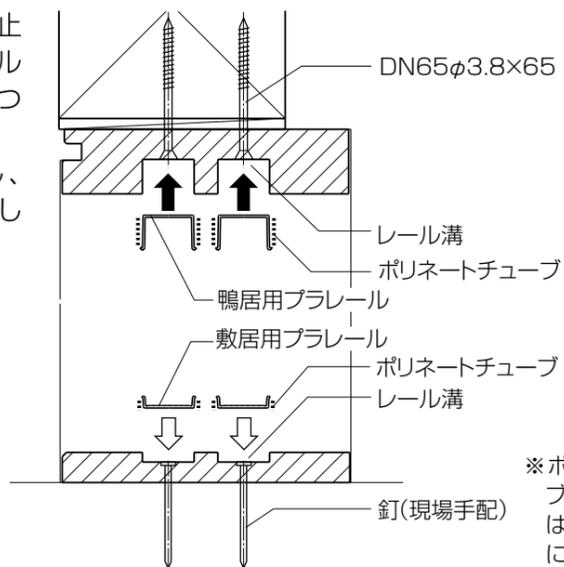
■片引戸枠



- 又、片引きの中縦枠は、裏面に接着剤を塗布し専用のかくし釘で固定します。



- 鴨居・敷居をレール溝からねじ止め及び釘止めした後、ブラレールの両側にポリネートチューブをつけて、溝にはめ込みます。
- 釘は、端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤と併用して取付けてください。

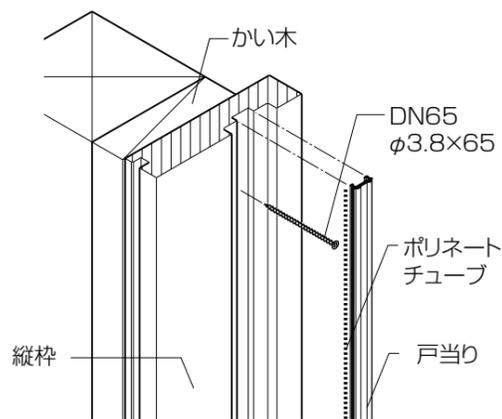


※ポリネートチューブは、付けすぎではみ出さないように注意してください。

2 枠・戸当りの取付け

開口部と縦枠(中縦枠、小縦枠を含む)、鴨居の間にかい木を入れて取付けます。縦枠は、ねじで固定後、戸当りに同梱の接着剤ポリネートチューブをつけて、戸当り溝をふさぎます。

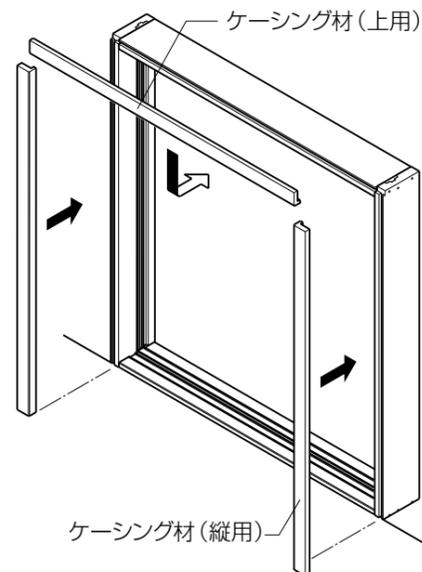
- 注) 1.片引きの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工します。
- 2.枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどないように(特に中縦枠)にしてください。
 - 3.接着剤ポリネートチューブは、付けすぎではみ出さないようにしてください。



3 ケーシング材の取付け

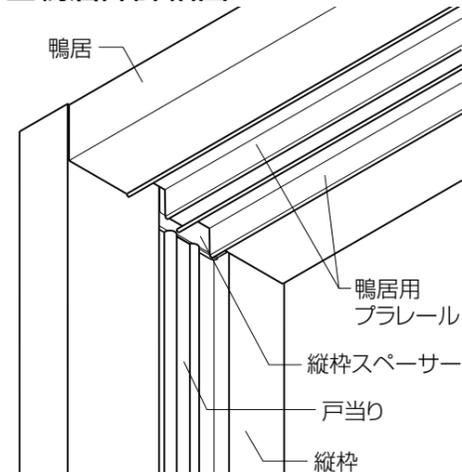
ケーシング材を取付けます。

- ①別梱ケーシング材を現場寸法に合わせてカットします。
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシングを固定します。
- ※仮止めする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。

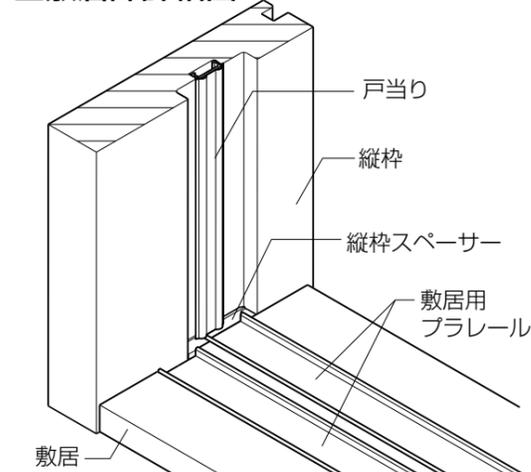


■戸当り、ブラレールのコーナー部の納め方

■鴨居部詳細図

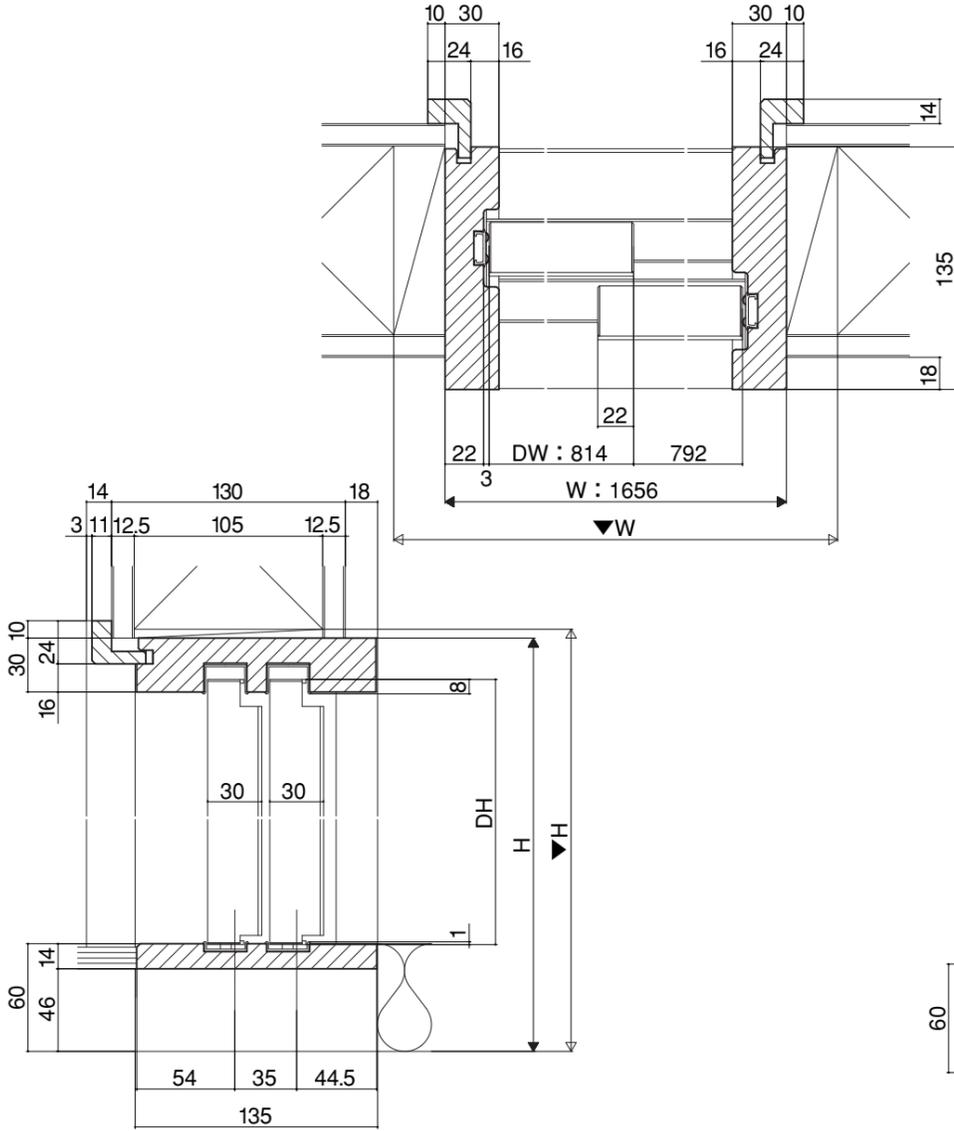


■敷居部詳細図

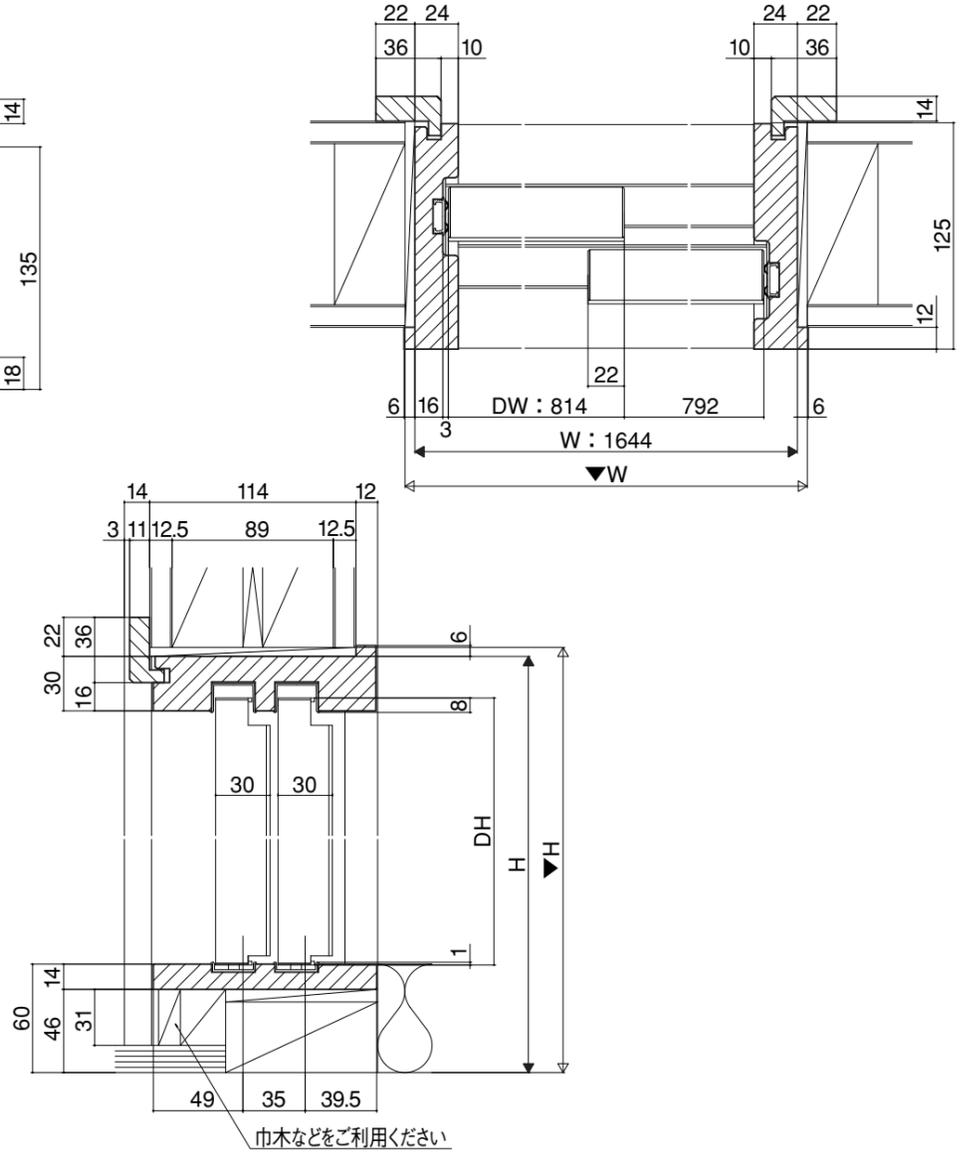


■納まり図

■引違い戸2枚建 (薄壁用)

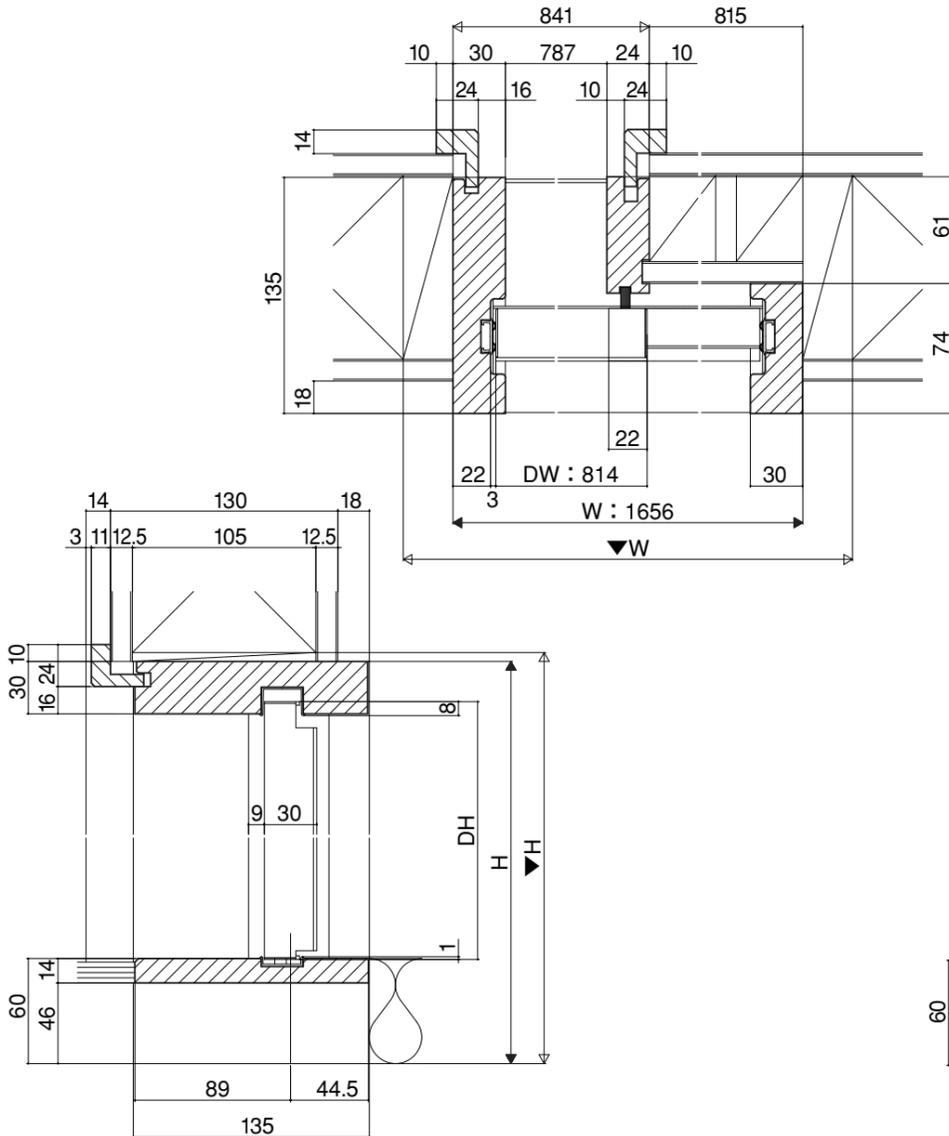


■引違い戸2枚建 (2×4用)



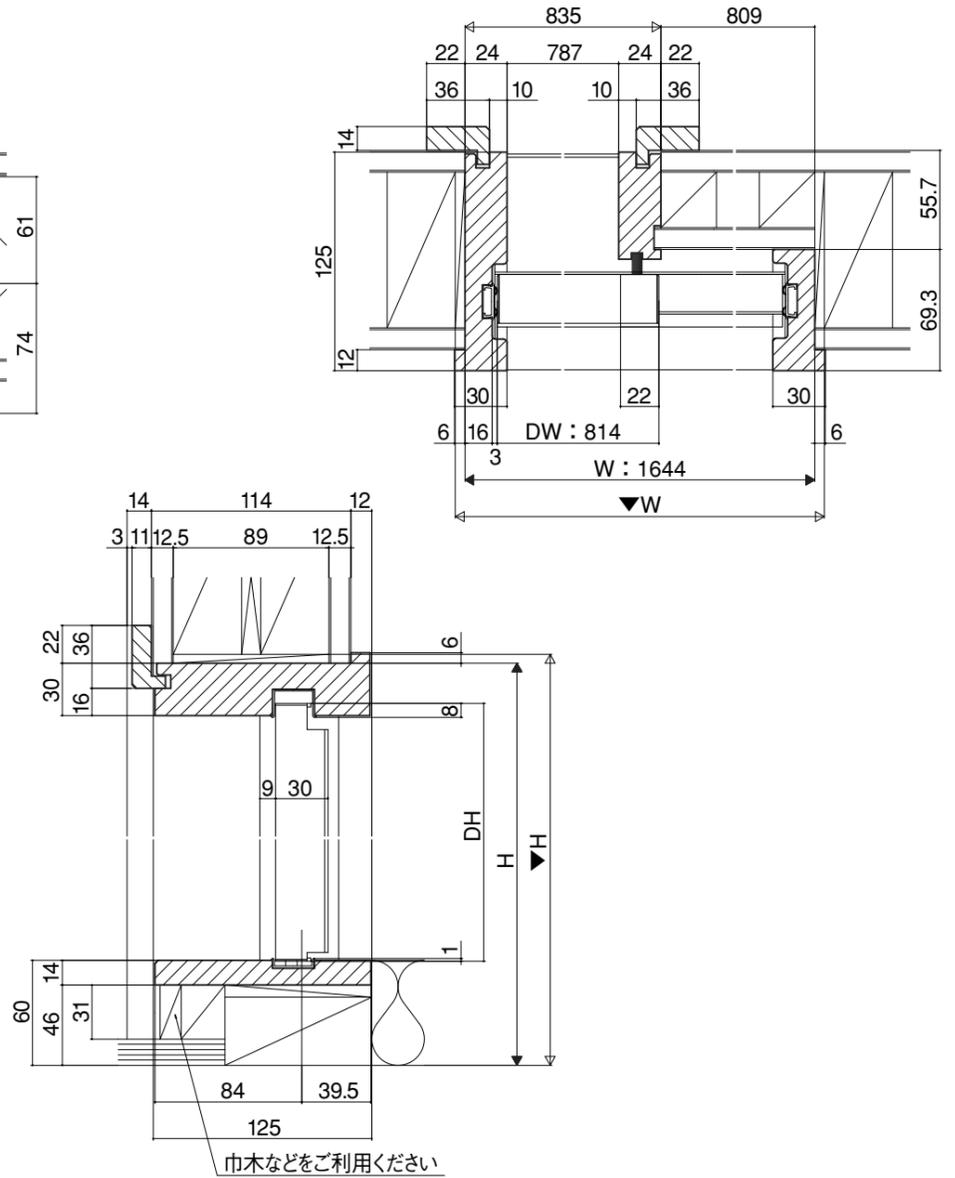
■片引戸 (薄壁用)

※本図は左勝手用を示し、右勝手用は本図と対称とする。

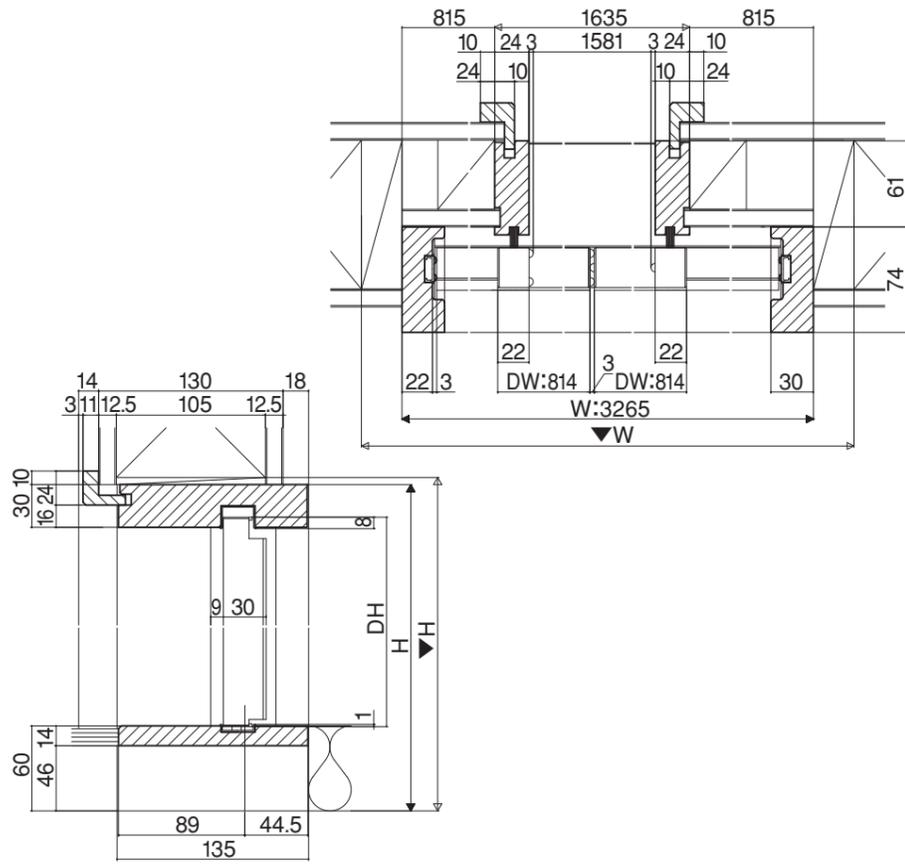


■片引戸 (2×4用)

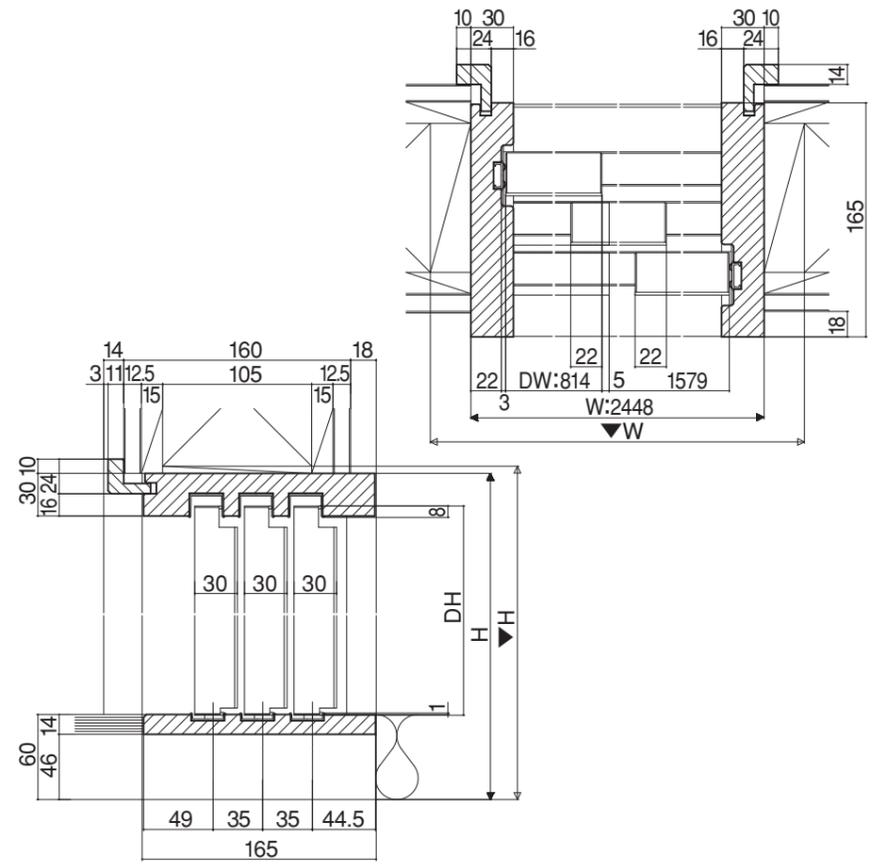
※本図は左勝手用を示し、右勝手用は本図と対称とする。



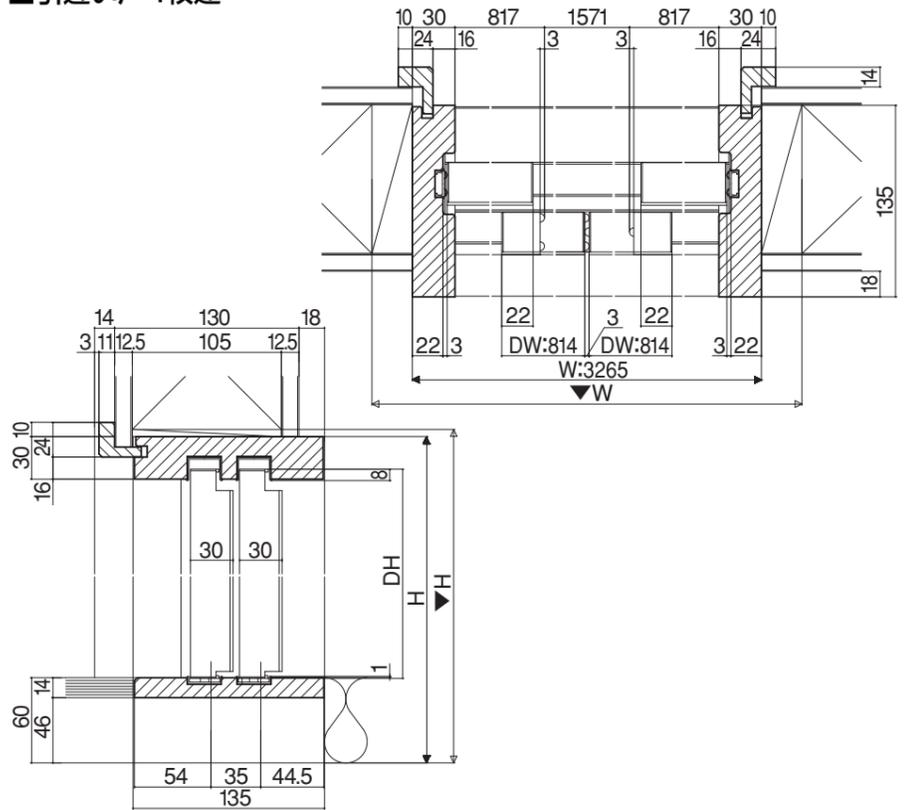
■引分け戸（薄壁用）



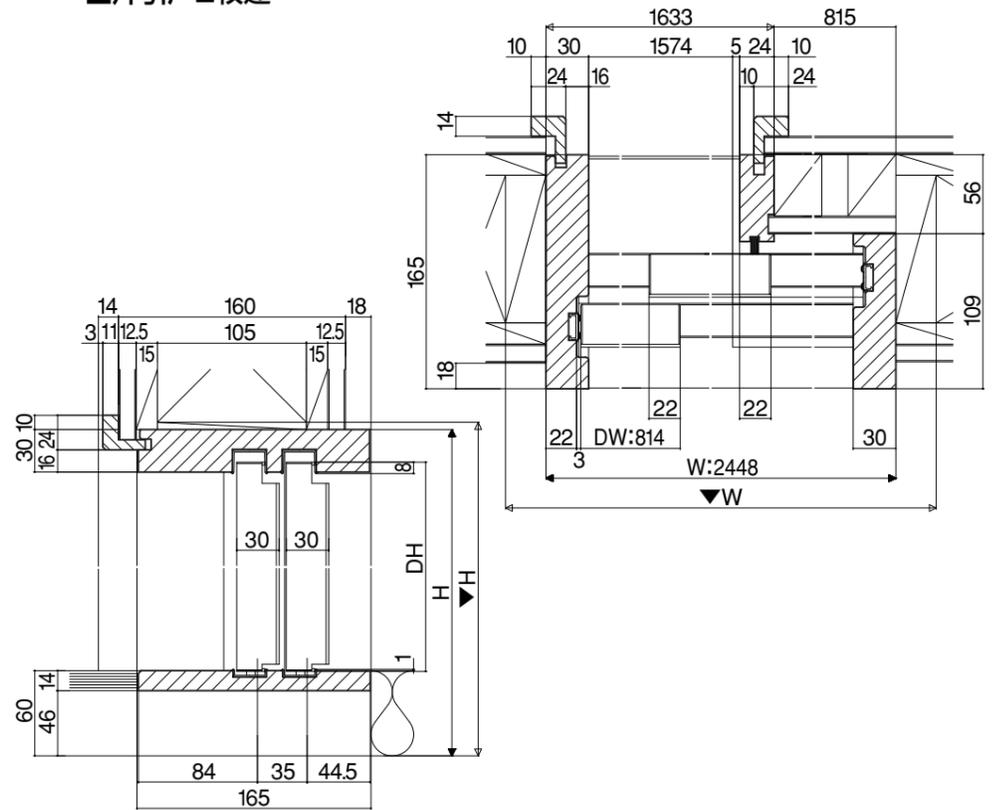
■引違い戸3枚建



■引違い戸4枚建



■片引戸2枚建



■片引戸3枚建

